



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 シキボウ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3109 URL <https://www.shikibo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 尻家 正博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部門長 (氏名) 伊丹 秀典 (TEL) 06-6268-5421  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画(録画)配信予定)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	18,500	8.0	580	△11.9	586	28.0	767	89.7
2022年3月期第2四半期	17,122	8.0	658	81.6	458	205.8	404	205.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,157百万円(98.1%) 2022年3月期第2四半期 584百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	66.25	—
2022年3月期第2四半期	36.62	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	82,345	32,508	39.5
2022年3月期	81,596	31,808	39.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 32,498百万円 2022年3月期 31,807百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	6.5	1,400	3.2	1,200	15.5	1,400	—	120.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	11,810,829株	2022年3月期	11,810,829株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	218,512株	2022年3月期	226,663株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	11,587,644株	2022年3月期2Q	11,050,740株

(注) 当社は、株式報酬制度（役員向け株式給付信託）を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、決算に関する説明動画（録画）の配信を予定しております。決算説明会資料についても、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
3. 参考情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円安の進行やロシアによるウクライナ侵攻の長期化を背景に資源価格高騰が続く中、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響を受けたものの、重症化率の低下やウィズコロナが進みつつあることにより、緩やかな回復傾向が続いております。しかし、中国ではゼロコロナ政策の継続が経済成長の足かせとなり、欧米では金利上昇に加え、記録的な物価上昇を背景に、世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

こうした事業環境のもと、繊維セグメントでは、一部の分野において市況回復等、明るい材料もあり、売上高は前年同期比増収となりましたが、原材料やエネルギー価格の高騰、急激な円安により、利益面では苦戦いたしました。産業材セグメントでは、航空機用途の需要は回復基調が続き、増収となりましたが、ドライヤーカンバス事業は減収となりました。また、不動産・サービスセグメントでは、リネンサプライ事業は増収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は185億円（前年同期比8.0%増）、営業利益は5億80百万円（同11.9%減）となりましたが、経常利益については為替差益が発生したことにより、5億86百万円（同28.0%増）となりました。また、2021年9月8日に当社の海外連結子会社である(株)マーメイドテキスタイルインドネシアにおいて発生した火災による損害に対する保険金等を特別利益として計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億67百万円（同89.7%増）となりました。

#### (繊維セグメント)

原糸販売事業は、国内産地向けやベトナム糸の販売は堅調に推移いたしました。

輸出衣料事業は、中東市場の回復を受けた追加受注や円安基調も重なり、好調を維持しております。

ユニフォーム事業は、ユニフォーム生地販売では、企業制服向け受注が順調に推移したことにより、増収となりました。ニット製品販売ではスポーツ分野の売上は順調に推移いたしました。

生活資材事業は、中国の都市封鎖による生産停滞の影響を受け、苦戦いたしました。リネンサプライ分野は好調に推移していた病院リネンの荷動きが鈍化傾向となりました。

メディカル分野では、量販店向け「フルテクト®マスク」が堅調に推移いたしました。

しかしながら、エネルギーや原材料価格の高騰、急激な円安により利益が圧迫され、製造コストの削減や販売価格への転嫁が追い付いていない状況が継続いたしました。

以上の結果、繊維セグメント全体としての売上高は95億22百万円（前年同期比8.8%増）となり、営業損失は3億62百万円（前年同期は2億37百万円の営業損失）となりました。

#### (産業材セグメント)

産業資材部門では、ドライヤーカンバス事業は、主要顧客である国内製紙会社の洋紙生産に回復が見られず、加えて設備改造案件が減少したことによりカンバス需要は低調に推移し、減収となりました。フィルタークロス事業は、底堅い官公需の受注に加えて、国内製造業各社の生産や設備投資の状況に改善が見られたことにより受注が増加し、増収となりました。空気清浄機器分野についても、海外向け大口機器受注により増収となりました。

機能材料部門では、化成品事業は中国向けの化学品需要が増加したと共に、食品用途の増粘多糖類等が堅調に推移した結果、全体では増収となりました。複合材料事業は、電力分野等の複合材料部材は低調となりましたが、航空機用途の需要は昨年度から回復基調が続いており、全体では増収となりました。

以上の結果、産業材セグメント全体としての売上高は62億91百万円（前年同期比7.0%増）となり、営業利益は2億95百万円（同4.3%減）となりました。

#### (不動産・サービスセグメント)

不動産賃貸事業は堅調に推移いたしました。ゴルフ場事業は天候不順の影響により、また物流事業は中国の都市封鎖の影響により苦戦いたしました。リネンサプライ事業はコロナ禍からの回復に伴って、ホテルの稼働率が向上したことから、増収となりました。

以上の結果、不動産・サービスセグメント全体としての売上高は29億88百万円（前年同期比7.2%増）となり、営業利益は10億円（同11.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は823億45百万円となり、前年度末に比べ7億49百万円の増加となりました。これは主に、棚卸資産の増加によるものであります。

負債は、498億36百万円となり、前年度末に比べ49百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等、未払消費税等が減少したものの、短期借入金の増加によるものであります。

純資産は、325億8百万円となり、前年度末に比べ6億99百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金、為替変動に伴う為替換算調整勘定の増加によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前年度末に比べ0.5ポイント増加し、39.5%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動では5億40百万円の増加、投資活動では5億73百万円の減少、財務活動では7百万円の増加となりました。

結果、資金は85百万円の増加（前年同期は2億28百万円の減少）となり、四半期末残高は50億94百万円（前年同期は61億44百万円）となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費等内部留保等により、5億40百万円の増加（前年同期は14億78百万円の増加）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出等により、5億73百万円の減少（前年同期は3億66百万円の減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金は、配当金の支払による減少等があったものの、借入金の増加等により、7百万円の増加（前年同期は14億4百万円の減少）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月31日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,081	5,169
受取手形及び売掛金	6,946	6,969
電子記録債権	1,873	1,783
商品及び製品	4,857	5,430
仕掛品	1,703	1,835
原材料及び貯蔵品	1,806	1,789
その他	794	994
貸倒引当金	△23	△28
流動資産合計	23,039	23,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,893	46,285
減価償却累計額及び減損損失累計額	△33,533	△34,262
建物及び構築物(純額)	12,360	12,023
機械装置及び運搬具	26,603	27,989
減価償却累計額及び減損損失累計額	△24,802	△25,733
機械装置及び運搬具(純額)	1,801	2,256
工具、器具及び備品	1,672	1,712
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,534	△1,571
工具、器具及び備品(純額)	138	140
土地	39,859	39,859
リース資産	1,988	1,923
減価償却累計額	△1,055	△1,056
リース資産(純額)	933	867
建設仮勘定	424	212
有形固定資産合計	55,516	55,359
無形固定資産	285	324
投資その他の資産		
投資有価証券	868	860
繰延税金資産	1,527	1,472
その他	413	435
貸倒引当金	△54	△51
投資その他の資産合計	2,755	2,716
固定資産合計	58,557	58,401
資産合計	81,596	82,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,127	3,122
電子記録債務	682	814
短期借入金	7,863	8,958
1年内償還予定の社債	1,290	1,300
未払費用	509	484
未払法人税等	366	226
未払消費税等	439	77
賞与引当金	561	563
火災損失引当金	321	326
その他	1,414	1,308
流動負債合計	16,577	17,181
固定負債		
社債	3,260	3,150
長期借入金	11,623	11,218
リース債務	798	728
繰延税金負債	178	178
再評価に係る繰延税金負債	6,236	6,236
退職給付に係る負債	6,565	6,631
役員退職慰労引当金	62	51
修繕引当金	62	69
長期預り敷金保証金	4,145	4,145
その他	274	244
固定負債合計	33,209	32,655
負債合計	49,787	49,836
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	896	879
利益剰余金	7,957	8,259
自己株式	△266	△240
株主資本合計	19,923	20,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	130
繰延ヘッジ損益	5	66
土地再評価差額金	13,381	13,381
為替換算調整勘定	△1,224	△924
退職給付に係る調整累計額	△420	△390
その他の包括利益累計額合計	11,883	12,263
非支配株主持分	1	10
純資産合計	31,808	32,508
負債純資産合計	81,596	82,345

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	17,122	18,500
売上原価	13,847	15,204
売上総利益	3,275	3,296
販売費及び一般管理費	2,616	2,716
営業利益	658	580
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	29	15
為替差益	0	106
補助金収入	76	24
雑収入	45	38
営業外収益合計	156	187
営業外費用		
支払利息	116	106
新型コロナウイルス感染症による損失	65	16
株式交換関連費用	80	-
雑支出	93	58
営業外費用合計	356	180
経常利益	458	586
特別利益		
受取保険金	-	560
固定資産売却益	1	0
その他	0	0
特別利益合計	1	561
特別損失		
火災損失	-	92
災害損失	-	27
投資有価証券評価損	8	-
その他	2	4
特別損失合計	11	125
税金等調整前四半期純利益	448	1,022
法人税、住民税及び事業税	170	206
法人税等調整額	△122	41
法人税等合計	47	247
四半期純利益	401	775
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	404	767

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	401	775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	△11
繰延ヘッジ損益	△9	60
為替換算調整勘定	185	301
退職給付に係る調整額	△11	30
その他の包括利益合計	182	381
四半期包括利益	584	1,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	586	1,147
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	9

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	448	1,022
減価償却費	903	890
長期前払費用償却額	14	12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	34	5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5	△11
修繕引当金の増減額(△は減少)	11	6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11	1
受取利息及び受取配当金	△33	△17
支払利息	116	106
為替差損益(△は益)	△1	△30
受取保険金	-	△560
火災損失	-	92
災害損失	-	27
固定資産処分損益(△は益)	2	1
固定資産売却損益(△は益)	△1	3
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	8	-
売上債権の増減額(△は増加)	67	125
棚卸資産の増減額(△は増加)	△473	△512
仕入債務の増減額(△は減少)	227	59
未払消費税等の増減額(△は減少)	127	△362
その他	164	△291
小計	1,595	568
利息及び配当金の受取額	22	5
利息の支払額	△116	△106
法人税等の支払額	△22	△336
保険金の受取額	-	560
火災損失の支払額	-	△146
災害損失の支払額	-	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,478	540
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△346	△509
有形固定資産の売却による収入	3	1
投資有価証券の取得による支出	△4	△35
投資有価証券の売却による収入	2	29
定期預金の払戻による収入	43	36
定期預金の預入による支出	△39	△36
その他	△25	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△366	△573

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△547	1,088
長期借入れによる収入	1,200	1,700
長期借入金の返済による支出	△2,185	△2,109
社債の発行による収入	1,369	588
社債の償還による支出	△680	△700
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△430	△462
非支配株主への配当金の支払額	△18	-
その他	△111	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,404	7
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△228	85
現金及び現金同等物の期首残高	6,372	5,008
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,144	5,094

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,744	5,882	2,495	17,122	—	17,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	292	296	△296	—
計	8,748	5,882	2,787	17,418	△296	17,122
セグメント利益又は損失(△)	△237	308	894	965	△306	658

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△306百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,518	6,291	2,690	18,500	—	18,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	297	301	△301	—
計	9,522	6,291	2,988	18,802	△301	18,500
セグメント利益又は損失(△)	△362	295	1,000	933	△353	580

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△353百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 参考情報

2023年3月期の連結業績予想

(2023年3月期)

(単位：百万円)

	報告セグメント			消去及び全社	合計
	繊維	産業材	不動産・サービス		
売上高	20,000	12,700	5,900	△600	38,000
営業利益	△350	600	1,900	△750	1,400
経常利益					1,200
親会社株主に 帰属する 当期純利益					1,400